

- ◎ 編集と発行 山橋自治センター
- ◎ でんわ 26-1065 番 ◎ FAX 26-3109 番
- ◎ 発行責任者 芳賀 眞一
- ◎ 発行所職員 長谷川信光; 湯澤千春
- ◎ 発行日 令和4年11月1日



日本大学生 20 名が来町

日本大学（神奈川県藤沢市）生物資源科学部食品ビジネス学科（宮部和幸教授・農学博士）の学生がこの度、食と農の現状分析のため来町しました。日大の宮部教授とは、10年来のお付き合いもあり、山橋地区を選んでいただきました。今回は、山橋地区の食や農業実態について大平周一産業



おこし部会長から概要説明がありました。2日目には、板橋地区のフットパスを活用したウォーキングも実施し、景観部会の矢内壮幸部会長の案内でブナの巨木や神社、仏閣（女庭観音堂、東渡神社、光渡寺）を散策しました。今後この活動を大学に持ち帰り山橋の宝物が発掘できれば、大変うれしく思います。さらに石ころ多の絵本づくりも考えているとの事でもあります。完成が楽しみです。



☆11月5・6日(土・日)☆ 文化祭開催間近!!

11月5日(土)6日(日)の2日間、山橋自治センターにおいて、文化祭が開催されます。展示物を中心とした催しになります。主な展示品は、次のとおりです。

- ◆鈴木寛先生絵画回顧展 ◆教室生作品展（豊遊塾、ふるさと塾）◆団体機関出品（菊づくり愛好会、盆栽会、さくら荘入所者作品、愛恵自立支援センター利用者作品、まちづくり委員会活動写真）◆個人作品（書画、骨董類）◆その他創作作品、芸術作品◆防災グッズを展示します。



山橋地区ゲートボール交流会開催!

山橋地区のゲートボール愛好者による交流会が、10月20日(木)旧南山形小学校校庭において開催しました。当日は28名が参加し、6チーム編成による交流戦が行われ、それぞれに熱戦が展開されました。また、第1ゲートから上がりまでの打数競争では、13打(2回実施の合計)須藤留義さんが1位に、2位には、十文字タミさんが14打同じく14打で、矢内鷹嗣さんがそれぞれ入賞しました。ほかに、高齢者賞として、松浦サワ子さん(89歳)と十文字栄信さん(88歳)に贈られました。

記念碑調査から

⑧ 県道編入記念碑

「ふるさと塾」調査

(所在: 板橋字沢古屋)

我郷土、板橋の此の川、此の山は、悠久の昔から未来に連なる祖先の遺産である。我等の祖先は農を営み、交通、その他の利便は最も重大である。不肖義三 時の県議 深谷翁の援助を受け、板橋より浅川へ通ずる町道を県道に編入せり 仍而茲に銘を刻み、更に郷土発展の覚悟を新たにする記録とする

時、昭和 34 年 8 月 31 日 許用

板橋より浅川 7,405 米 橋 72 米



昭和 55 年 11 月 23 日 建立

小木義三誌書

石川地方グラウンドゴルフ大会 山橋チーム第 3 位入賞



10 月 19 日石川地方老人クラブ連合会主催によるグラウンドゴルフ大会が母畑レークサイドセンターにおいて開催されました。各町村 3 チームの出場で、計 15 チームにより競技が行われ、石川町代表でもある山橋チームが見事 3 位に入賞しました。

山橋のチームが入賞を独占！

10 月 7 日行われた、母畑 B&G 会長杯ゲートボール大会 (14 チーム 出場) において山橋のチームが上位を独占しました。優勝に板橋あやめチーム (須藤一男代表)、準優勝に南山形チーム (我妻貞正代表)、第 3 位に板橋やまぶきチーム (須藤光夫代表) と山形 A チーム (遠藤計代表) がそれぞれ入賞し、山橋地区のチームが入賞を独占しました。



なつかしの童謡・唱歌 ③

“もみじ” ♪

1. 秋の夕日に 照る山もみじ 濃いも薄いも 数ある中に
松をいりどる カエデやツタは 山のふもとの すそもよう
2. 谷の流れに 散り浮くもみじ なみにゆられて はなれてよって
赤や黄色の いろさまざまに 水の上にも おるにしき

文芸 (川柳)

☆ 小湊ミドリさんの作品

○ 秋風に ぽとりぽとりと 栗の実が

○ フレイルを 学ぶ楽しさ お湯仲間

☆ 太楽キヨ子さんの作品

○ 秋空に 背伸びして咲く 会津そば

○ 出かけよう しあわせ探しに 秋散歩

☆ 受賞 2 題 ☆

①防犯協会山橋支部(塩田増基支部長)は、地域安全活動に率先して取り組まれた功績により、10 月 13 日に県警察本部長・県防犯協会連合会長の連名により表彰されました。②板橋長寿会(小木英雄会長)は、地域の花壇づくりや緑化推進に功績があったとして、石川地方植樹祭の席上、表彰されました。おめでとうございます。今後とも双団体の更なるご精進とご活躍をお願いしたいと思います。

編集雑感

◆野山の木々も色づき始め、田んぼの黄金色も少なくなってきました。収穫はどうだったのでしょうか。休心されている方も多いかと思われます。作物を作ると少々、不満があると農業もまた、来年。と…よく耳にします。疲れを癒し、次年の活力にしてください。(芳真)

